

1

輪地切り・輪地焼き支援ボランティア活動 及び野焼き後の牧柵補修

- 実施主体 公益財団法人阿蘇グリーンストック
- 実施場所 阿蘇郡市内の各牧野
- 実施期間 平成31年4月中旬～令和2年3月下旬



<背景・ねらい>

野焼きを行う前、前年の夏から秋にかけて（牧野によっては春の野焼き直前に）防火帯づくり（輪地切り）の作業を行う。牧野によっては、輪地を切った後、枯草を集めて焼く輪地焼き作業を実施するところもあるが、これらの作業は非常に過酷で危険を伴う。高齢化や過疎化により、地元だけで作業を行うことが厳しくなっている。そこで、ボランティアが支援に入り、地元と共に作業を行う。

また、原野維持に欠かせない一つとして放牧がある。放牧エリアを囲うため、牧柵を設置するが、この設置・補修作業も重労働で人手が必要である。地元だけで作業することが厳しい牧野へボランティアが入り設置及び補修の支援をする。

■実施概要

○輪地切り・輪地焼き支援ボランティア活動

- ・阿蘇郡市内（6市町村）の各牧野で実施。
- ・ボランティア支援を希望する牧野組合のとりまとめ。
（各市町村へ依頼）
- ・支援活動のスケジュール作成及びボランティアの募集。
- ・各牧野組合との調整及び各牧野へのボランティア割り振り。
- ・支援活動の準備・撤収。（機材、案内板等）
- ・安全確保のため参加者には「刈払機安全講習会」及び「初心者研修会」の受講を義務付け。



輪地切り

○牧柵補修

- ・阿蘇郡市内（4市町村）の各牧野で実施。
- ・支援活動のスケジュール作成及びボランティアの募集。
- ・各牧野組合との調整及び各牧野へのボランティア割り振り。
- ・支援活動の準備・撤収。（機材、案内板等）



刈払機安全講習会

■実施体制

- ・公益財団法人阿蘇グリーンストック、野焼き支援ボランティア
- ・阿蘇地域8市町村

■成 果

○輪地切り・輪地焼き支援ボランティア活動

- ・派遣ボランティア：1,215名（延べ）
- ・支援牧野組合：45牧野

○牧柵補修

- ・派遣ボランティア：54名（延べ）
- ・支援牧野組合：5牧野



牧柵補修

■実施者の感想

- ・輪地切り作業は作業負荷が大きいため、野焼きに比べるとボランティアが集まりにくい。支援を必要とする牧野組合は増加傾向であるが、それに対応できる人員を確保することが難しくなっており、ボランティア獲得のための取り組みの強化が必要となっている。